

加茂地区の世帯・人口

世帯数 2,386 世帯
人口 4,778 人
男 2,408 人
女 2,370 人
令和3年7月1日現在

かも福祉だより

令和3年9月1日発行
第15号

発行者
加茂地区社会福祉協議会

事務局
吉沢学園交流棟
市原市吉沢117番地

新会長就任あいさつ

加茂地区社会福祉協議会会長 明賀 彦之

このたび、花澤会長の退任に伴い先の理事会に於いて会長に選任され、重責を担うことになりました。理事及び役員を4年経験し、その間、地域福祉活動を勉強させて頂きましたが、まさか会長の職を賜るとは夢にも思っていませんでした。経験の浅い微力な私ですが、役員・理事の皆と円滑な運営と地域福祉の充実の為に、責任を果たしたいと存じます。

“地域に恩返し”をテーマとして頑張ります。ただ、残念なことに昨年・今年と新型コロナウイルス感染拡大により例年の行事を開催することができません。しかし、少子高齢化や核家族化が急速に進む加茂地区ではありますが、社会福祉協議会といたしましては、誰もが幸せに安心して暮らせるよう地区民一体となって福祉活動を推進して“加茂の一枚岩”をつくりあげたいと思います。皆様の更なるご支援・ご協力をお願いいたしまして、就任のあいさつといたします。

敬老会事業 今年も中止

記念品を配布予定 (75歳以上)

昨年、加茂地区の敬老会は、新型コロナウイルスの感染拡大の状況に鑑み、中止になりました。

今年度は、新型コロナウイルスが下火になると予想していましたが、新たにデルタ変異株が感染拡大傾向にあり、感染力がより強いと言われています。

コロナワクチン接種率が高まっている状況ではありますが、皆様の健康を守ることを第一に考えると、昨年同様三つの密（密集・密閉・密接）を避けることでも難しい状況です。

安心・安全に敬老会を開催することは現時点では難しいとの判断であり、一堂に会する敬老会はできない状況です。したがって昨年と同様、加茂地区にお住いの75歳以上の方全員に記念品をお贈りするという形でお祝いしたいと考えています。

詳細につきましては、今後、加茂地区社会福祉協議会にて検討してまいりますので、ご承知ください。



民生委員児童委員は行政機関とのパイプ役

(活動)

現在、加茂地区には、24名の民生委員児童委員と2名の主任児童委員が活動しています。

民生委員児童委員・主任児童委員は、社会福祉の精神を持って、地域の皆さんが安心して暮らせるように生活に関する様々な相談に応じています。児童、高齢な方、障がいのある方、妊娠中や子育て中の方、介護をしている方の生活状態を把握し、援助を必要とする人が自立した日常生活を営むために助言・援助し、福祉サービスの適切な利用のための情報提供を行っています。また、社会福祉事業者や団体とも連携し、関係行政機関にも協力しています。

民生委員児童委員は、社会福祉の専門家ではありません。皆さんが抱えている色々な問題を早期に確認して、皆さんと関係機関をつなぐ役割を担っています。

令和元年、台風15号・19号さらに集中豪雨で加茂地区も大きな被害を受けました。このような災害は、今後も発生する可能性があります。民生委員児童委員は、日頃から支援の必要な方々に声かけや見守り活動を行っていますが、この情報を活用して情報伝達、安否確認、避難誘導を行い、避難所の設置や運営にも積極的に参加し、地域の住民や町会、消防団、自主防災組織等と協力・連携して活動していますので、気楽にお声がけ・相談してください。



高齢者向け宅配弁当について

市原市光風台にある「宅配クックワン・ツリー・スリー市原店」は一日二食、12時と18時の二回、自宅にお弁当を届けてくれます。

事前に相談すれば曜日指定の注文も可能。栄養士が栄養バランスを考えたメニューを作成し、普通食だけでなく、カロリーや塩分制限の必要な方、また噛む力の弱い方むけには軟らかい食事の対応も可能です。自宅玄関や食卓・枕元まで必要に応じて届けてくれるため、一人暮らしの方には安否確認にもつながります。

価格は一食当たり、おかずのみで税込み540円、おかずとご飯のセットで594円です。連絡先は、☎63-5278です。



買い物に困難を感じている方へ

牛久にあるスーパー「Tマート」が買い物者の送迎サービスと自宅周辺に来ていただく移動販売車事業を行っております。

(連絡先)

ご利用を希望する方は、☎92-0020へ。

災害ボランティア制度の活用

“台風シーズンの到来” 2年前の台風15号と19号は、赤道より北寄りの太平洋上で生まれ、風雨ともに弱まることなく千葉県を直撃しました。土砂災害や倒木で道路が塞がれ、家屋にも被害が出ました。養老の建物倒壊では、延べ50人くらいの災害ボランティアが活躍しました。ボランティアは飲み物・弁当持参で、依頼主の負担はありません。そういう制度が市原市にあるということを理解しておき、もしもの時にはためらうことなくご利用されることをお勧めします。



問合せ先(ボランティア支援をお願いするときは)

市原市ボランティアセンター(市原市社会福祉協議会内)

TEL 0436-20-3100

時間 月~金(平日)8:30~17:15

通いの場事業

いちょうの会(高滝地区)

「いちょうの会」は“楽しく元氣”がモットーで、毎月「10日、13時~15時」まで10数名が参加します。

今年の「5月」「6月」は、絵手紙に挑戦しました。練習に練習を重ね、それぞれが持参したお花や野菜をハガキに上手に描くことができ、一人ひとり個性があつて素晴らしい出来栄でした。「孫に出してみようかな」という声が聞こえてきました。

7月は、トータスさんにご指導をお願いしました。最初に「私の未来設計図」の説明があり、次は看護師さんから暑さに向かったの「脱水」について詳しいお話がありました。脳トレでは、沢山のクイズ、運動では「四つのお願い体操」やリンパの流れを良くし免疫を高めるマッサージ、そして「リンパ体操」と中身ぎっしりの2時間でした。

今後は、出前講座「おでかけくん」を利用して【災害リスク風水害編】を学習する予定です。



朝生原 菜の花会(白鳥地区)

平成元年の4月から活動を開始し、3年目になります。活動日は、今年度から毎月第2、第4土曜日の月2回となりました。地域おこし協力隊の堀エミさんのヨガ教室を中心に、脳トレ、健康体操、カラオケ、茶話会などを行っております。茶話会では参加者が持ち寄った漬物を頂きながら、各家庭の美味しい漬物の漬け方などの話に花が咲きます。

町会内や近隣地域の行事、高齢者の近況、ヨガ講師で地域おこし協力隊の堀エミさんの活動状況など、様々な情報交換の場としても活用しています。

新型コロナウイルスの影響で参加者が減少、また緊急事態宣言、蔓延防止特別措置の発令、延長で活動自粛が続いていますが、早くワクチン接種が浸透し感染が落ち着いて多くの参加者が活動再開できる日を待っています。



加茂地区社会福祉協議会賛助会員へ加入のお願い

少子・高齢化や核家族化などが進行し、高齢者世帯や独居世帯などの増加により、地域には複雑かつ複合的な生活課題を抱えたまま生活を送っている方々も増えております。

今後、ますます増大する福祉及び生活問題に対応していくためには「地区社協」としてできるだけ多くの自主事業費を確保する必要があります。そのためにも賛助会費は大切な財源です。

皆様にはこのことをご理解いただき「加茂地区社会福祉協議会賛助会員」としてご支援・ご協力をいただきたくお願い申し上げます。

これからも加茂地区独自の力で高齢者の集いの場として「加茂地区敬老会」「いきいきサロン」を続けていこうと考えております。

1. 賛助会費 年額 一口 1,000円(口数は問いません)

* 問い合わせは加茂地区社会福祉協議会役員及び理事にお願いします。

